

科目基本情報	科目名	期別	曜日・時限	単位
	精神保健福祉援助演習（Ⅰ）	前期	火4	2
	担当者	対象年次	授業に関する問い合わせ	
	知名 孝	2年	人間福祉学科 知名孝	

学びの準備	ねらい 本科目は、精神保健福祉援助の知識と技術に係る他の科目との関連性も視野に入れつつ、精神保健福祉士に求められる相談援助に係る基礎的な知識と技術について、次に掲げる方法を用いて、実践的に習得するとともに、専門的援助技術として概念化し理論化し体系立てていくことができる能力を滋養する。	メッセージ
	到達目標 精神保健福祉士として必要な、最低限の相談援助の知識・技術を習得する	

学びの実践	学びのヒント 授業計画		
	回	テーマ	時間外学習の内容
	1	導入	
	2	基本的なコミュニケーション	
	3	基本的なコミュニケーション	
	4	自己覚知	
	5	自己覚知	
	6	基本的な面接技術の習得	
	7	グループダイナミックス活用技術	
	8	情報の収集・整理・伝達の技術の習得	
9	課題の発見・分析・解決の技術の習得		
10	記録の技術の習得		
11	地域福祉の基盤整備（地域住民に対するアウトリーチとニーズ把握）		
12	地域福祉の基盤整備（地域アセスメント）		
13	地域福祉の基盤整備（地域福祉の計画）		
14	地域福祉の基盤整備（ネットワーキング）		
15	地域福祉の基盤整備（社会資源の活用・調整・開発）		
16	地域福祉の基盤整備（サービス評価）		
	テキスト・参考文献・資料など 講義開始時にテキストについては説明する。		
	学びの手立て		
	評価 評価は、1)ゼミ活動（ゼミのなかでのディスカッションを含む）への参加態度、2)出席、3)レポート・課題の提出、4)その他にもとづき行っていく。		

学びの継続	次のステージ・関連科目
-------	-------------

科目基本情報	科目名	期別	曜日・時限	単位
	精神保健福祉援助演習(Ⅱ)	後期	火4	2
	担当者	対象年次	授業に関する問い合わせ	
	知名 孝	2年	人間福祉学科 知名孝	

学びの準備	ねらい	メッセージ
	精神保健福祉援助の知識と技術に係る他の科目との関連性も視野に入れつつ、精神障害者の生活や生活上の困難について把握し、精神保健福祉士に求められる相談援助に係る知識と後術について、次に掲げる方法を用いて、実践的に習得するとともに、専門的援助技術として概念化し理論化し体系立てていくことができる能力を滋養する。	精神保健福祉士に求められる地域との連携にもとづいた相談援助の知識と技術について、ロールプレイング等をまじえた演習活動を通して、その能力を培っていく。

学びの準備	到達目標
	1 総合的かつ包括的な相談援助、医療と協働・連携する相談援助に係る具体的な相談援助事例を体系的に取り上げていく。 2 個人指導並びに集団指導を通じて、具体的な援助場面を想定した実技指導（ロールプレイング等）を中心とする演習形態により行っていく。

学びの実践	学びのヒント		
	授業計画		
	回	テーマ	時間外学習の内容
	1	導入およびオリエンテーション	
	2	精神障害者への社会的排除・偏見・歴史①	
	3	精神障害者への社会的排除・偏見・歴史②	
	4	退院支援、地域移行、地域生活支援①	
	5	退院支援、地域移行、地域生活支援②	
	6	ピアサポート	
	7	精神障害と自殺	
	8	ひきこもり支援の現状とシステム	
	9	薬物・アルコール依存症者、家族への支援①	
	10	薬物・アルコール依存症者、家族への支援②	
	11	精神障害者の支援と児童虐待	
	12	ライフスパンの支援—教育から就労へ	
	13	貧困、低所得、ホームレスと精神障害者	
	14	精神科リハビリテーション①	
15	精神科リハビリテーション②		
16	まとめ		

学びの実践	テキスト・参考文献・資料など 講義開始時にテキストについては説明する。
-------	--

学びの実践	学びの手立て
-------	--------

学びの実践	評価 評価は、1)ゼミ活動（ゼミのなかでのディスカッションを含む）への参加態度、2)出席、3)レポート・課題の提出、4)その他にもとづき行っていく。
-------	---

学びの継続	次のステージ・関連科目
-------	-------------

科目基本情報	科目名	期別	曜日・時限	単位
	精神保健福祉援助演習(Ⅲ)	前期	水5	2
	担当者	対象年次	授業に関する問い合わせ	
	知名 孝		人間福祉学科 知名孝	

学びの準備	ねらい 精神保健福祉援助の知識と技術に係る他の科目との関連性も視野に入れつつ、精神障害者の生活や生活上の困難について把握し、精神保健福祉士に求められる相談援助に係る知識と後術について、次に掲げる方法を用いて、実践的に習得するとともに、専門的援助技術として概念化し理論化し体系立てていくことができる能力を滋養する。	メッセージ 精神保健福祉士に求められる地域との連携にもとづいた相談援助の知識と技術について、ロールプレイング等をまじえた演習活動を通して、その能力を培っていく。
	到達目標 ① 総合的かつ包括的な相談援助、医療と協働・連携する相談援助に係る具体的な相談援助事例を体系的に取り上げていく。 ② 個人指導並びに集団指導を通じて、具体的な援助場面を想定した実技指導（ロールプレイング等）を中心とする演習形態により行っていく。	

学びの実践	学びのヒント		
	授業計画		
	回	テーマ	時間外学習の内容
	1	導入・基礎知識の確認、演習Ⅱの確認	
2	精神障害と危機対応		
3	インテーク面接から契約		
4	インテーク面接から契約（実技）		
5	アセスメントとプランニング		
6	アセスメントとプランニング（グループワーク）		
7	支援の実施		
8	モニタリング、効果測定と支援の評価		
9	終結とアフターケア		
10	アウトリーチによる支援		
11	ケアマネジメント手法による支援		
12	チームアプローチ		
13	ネットワーキング（事例から見る必要性）		
14	社会資源の活用・調整・開発		
15	社会資源の活用・調整・開発（事業所設立と運営についての事例から		
16	まとめ		
	テキスト・参考文献・資料など (1) 『新・精神保健福祉士養成講座第8巻 精神保健風刺援助演習 基礎・専門』（中央法規出版） (2) 『精神科リハビリテーション・ケースブック』野田文隆、寺田久子著 医学書院 (3) その他必要に応じて提示する		
	学びの手立て		
	評価 授業態度（演習ワークやディスカッションへの参加）、出欠状況、レポート等を総合して判断する		

学びの継続	次のステージ・関連科目
-------	-------------

科目基本情報	科目名	期別	曜日・時限	単位
	精神保健福祉援助実習指導	通年	水3・水4	6
	担当者	対象年次	授業に関する問い合わせ	
	知名 孝	4年	総合文化学部人間福祉学科 知名孝	

学びの準備	ねらい	メッセージ
	<p>①精神保健福祉援助実習の意義について理解する                  ②精神保健福祉援助実習に係る個別指導及び集団指導を通して、精神保健福祉援助に係る知識と技術について具体的かつ実践的に理解し実践的な技術等を体得する。</p>	<p>精神障害者のおかれる現状を把握したうえで、精神保健福祉実習の意義について理解し、精神保健福祉士として求められる資質について掘り下げていく。</p>
	到達目標	
	精神保健福祉士としての資質についての考察を深め、各学生が精神保健福祉実習への課題を設定できるようにする。	

学びの実践	学びのヒント		
	授業計画		
	回	テーマ	時間外学習の内容
	1	導入およびオリエンテーション	
	2	精神保健福祉実習の意義と目的	
	3	精神保健医療福祉の現状の理解①	
	4	精神保健医療福祉の現状の理解②	
	5	実習施設の基本的理解①	
	6	実習施設の基本的理解②	
	7	現場体験学習及び見学実習（発表・報告）	
	8	現場体験学習及び見学実習（発表・報告）	
	9	実習先で必要とされる専門的知識と技術	
	10	精神保健福祉士の職業倫理と法的責務	
	11	プライバシー保護と守秘義務の理解	
	12	実習計画の作成	
	13	実習計画の作成	
	14	実習ノートと記録について	
	15	スーパービジョンの活用について	
	16	実習期間中のフォロー会	
	17	実習期間中のフォロー会	
	18	実習期間中のフォロー会	
	19	実習記録をふまえた実習体験のとらえ直し	
	20	実習記録をふまえた実習体験のとらえ直し	
	21	実習報告	
	22	実習報告	
	23	実習報告	
	24	実習報告	
	25	実習総括レポートの作成	
	26	実習総括レポートの作成	
	27	実習総括レポートの作成	
	28	実習報告会にむけて	
	29	実習報告会にむけて	
30	実習報告会の開催		
31	実習の評価・全体総括		

学 び の 実 践	<p>テキスト・参考文献・資料など</p> <p>①『新・精神保健福祉士養成講座第9巻 精神保健風刺援助実習指導・実習』（中央法規出版）</p> <p>②その他必要に応じて提示する</p>
	<p>学びの手立て</p>
	<p>評価</p> <p>授業態度（演習ワークやディスカッションへの参加）、出欠状況、レポート等を総合して判断する。実習後の評価は、実習先の実習指導担当者の評価や実習生本人の自己評価を総合して判断する。</p>
学 び の 継 続	<p>次のステージ・関連科目</p>

科目基本情報	科目名	期別	曜日・時限	単位
	精神保健福祉援助実習指導（Ⅰ）	後期	水5	2
	担当者	対象年次	授業に関する問い合わせ	
	知名 孝		人間福祉学科 知名孝	

学びの準備	ねらい 精神保健福祉援助実習の意義、そして精神障害者のおかれている現状を理解し、その生活の実態や生活上の困難について理解の上に精神保健福祉実習に備えていくための演習科目。	メッセージ
	到達目標 ① 精神保健福祉援助実習に係る個別指導及び集団指導を通して、精神保健福祉援助に係る知識と技術について具体的かつ実際に理解し実践的な技術等を体得する。 ② 精神保健福祉士として求められる資質、技能、倫理、自己に求められる課題把握等、総合的に対応できる能力を習得する。 ③ 具体的な体験や援助活動を、専門的知識及び技術として概念化し理論化し体系立てていくことができる能力を滋養する。	

学びの実践	学びのヒント 授業計画		
	回	テーマ	時間外学習の内容
	1	導入・基礎知識の確認、これまでの演習および講義科目の確認	
	2	精神保健福祉実習の意義と目的	
	3	精神保健医療福祉の現状の理解①	
	4	精神保健医療福祉の現状の理解②	
	5	精神保健医療福祉の現状の理解③	
	6	実習施設の基本的理解①	
	7	実習施設の基本的理解②	
	8	現場体験学習及び見学実習①	
	9	現場体験学習及び見学実習②	
	10	現場体験学習及び見学実習③	
	11	現場体験学習及び見学実習（発表・報告）①	
	12	現場体験学習及び見学実習（発表・報告）②	
	13	過去の実習事例の検討 ①	
	14	過去の実習事例の検討 ②	
	15	実習担当者からの講話	
	16	まとめ	
	テキスト・参考文献・資料など (1) 『新・精神保健福祉士養成講座第9巻 精神保健風刺援助実習指導・実習』（中央法規出版） (2) その他必要に応じて提示する		
	学びの手立て		
	評価 授業態度（演習ワークやディスカッションへの参加）、出欠状況、レポート等を総合して判断する。実習後の評価は、実習先の実習指導担当者の評価や実習生本人の自己評価を総合して判断する。		

学びの継続	次のステージ・関連科目
-------	-------------

科目基本情報	科目名	期別	曜日・時限	単位
	精神保健福祉の理論と相談援助の展開Ⅱ	後期	木5	2
	担当者	対象年次	授業に関する問い合わせ	
	知名 孝・他	2年		

学びの準備	ねらい 精神障害者への理解とリハビリテーション、そして地域支援の方法と現状を紹介していく中で、私たちが精神障害(者)とどのように向き合うべきかを考えていく講義です。精神障害を抱える人達とその家族を支えていく福祉職にとって基本的な視点を与える講義となります。具体的なケース検討などを交えながら講義を進めていきます。	メッセージ 精神障害者を抱えるのは本人と家族だけではありません。私たち社会が、精神障害者とうどう共存するかということは、私たち社会が抱える精神障害であり、精神疾患なのです。社会の一員として避けてはいけない問題として考えていく必要があります。
	到達目標 ①精神障害者の歴史を理解した上で、彼らが抱える「生きづらさ」に関する理解がすすむ。 ②精神障害者のリハビリテーションと地域支援についての理解がすすむ。 ③精神障害者への相談・支援の具体的方法論について習得する。 ④具体的支援方法を以下に適応するかについての「支援のコツ」について習得する。	

学びの実践	学びのヒント 授業計画		
	回	テーマ	時間外学習の内容
	1	導入・「精神保健福祉の理論と相談援助の展開Ⅰ」の確認	「Ⅰ」のノートの確認
	2	医療機関における精神科リハビリテーションの展開 (精神科医療相談室・病棟)	教科書第1章第5章
	3	医療機関における精神科リハビリテーションの展開 (精神科医療相談室・病棟)	教科書第1章第5章
	4	医療機関における精神科リハビリテーションの展開 (デイナイトケア)	教科書第1章第5章
	5	医療機関における精神科リハビリテーションの展開 (認知症支援)	教科書第1章第5章
	6	医療機関における精神科リハビリテーションの展開 (認知症支援)	教科書第1章第5章
	7	医療機関における精神科リハビリテーションの展開 (認知症支援)	教科書第1章第5章
	8	医療機関における精神科リハビリテーションの展開 (訪問看護)	教科書第1章第5章
9	地域移行の対象及び支援体制 (相談支援の働き)	教科書2第3章	
10	地域移行の対象及び支援体制 (就労支援と地域生活支援)	教科書2第3章	
11	地域移行の対象及び支援体制 (生活訓練と地域生活支援)	教科書2第3章	
12	地域移行の対象及び支援体制 (うつ病当事者・家族への支援)	教科書2第3章	
13	地域移行の対象及び支援体制 (引きこもり・生活困窮者への支援)	教科書2第3章	
14	地域移行の対象及び支援体制 (子ども・発達障害・学校支援)	教科書2第3章	
15	地域移行の対象及び支援体制 (子さまさまざまな分野における支援)	教科書2第3章	
16	まとめ・試験		
実践	テキスト・参考文献・資料など 詳細は講義の際に説明する。以下のテキストの使用を検討している。 『新・精神保健福祉士養成講座5 精神保健の理論と相談援助の展開Ⅰ・Ⅱ』日本精神保健福祉士養成校協会編集 中法規出版		
	学びの手立て		
	評価 ①講義への参加・出席、②課題の提出、③講義中のディスカッション等への参加状況、④期末テスト・期末課題の提出の有無とその内容を総合的に判断します。		

学びの継続	次のステージ・関連科目
-------	-------------

科目基本情報	科目名	期別	曜日・時限	単位
	精神保健福祉の理論と相談援助の展開Ⅲ	前期	火6	2
	担当者	対象年次	授業に関する問い合わせ	
	-山城 涼子	2年	takashic@okiu.ac.jp	

学びの準備	ねらい	メッセージ
	精神障害者への理解とリハビリテーション、そして地域支援の方法と現状を紹介していく中で、私たちが精神障害(者)とどのように向き合うべきかを考えていく講義です。精神障害を抱える人達とその家族を支えていく福祉職にとって基本的な視点を与える講義となります。具体的なケース検討などを交えながら講義を進めていきます。	精神障害者を抱えるのは本人と家族だけではありません。私たち社会が、精神障害者どう共存するかということは、私たち社会が抱える精神障害であり、精神疾患なのです。社会の一員として避けてはいけない問題として考えていく必要があります。
到達目標	①精神障害者の歴史を理解した上で、彼らが抱える「生きづらさ」に関しての理解がすすむ。 ②精神障害者のリハビリテーションと地域支援についての理解がすすむ。 ③精神障害者への相談・支援の具体的方法論について習得する。 ④具体的支援方法を以下に適応するかについての「支援のコツ」について習得する。	

学びの実践	学びのヒント		
	授業計画		
	回	テーマ	時間外学習の内容
	1	導入	
	2	医療機関における精神科リハビリテーションの展開 (総論)	教科書1第5章
	3	医療機関における精神科リハビリテーションの展開 (総論)	教科書1第5章
	4	精神障害者支援の実践モデル	教科書1第6章
	5	精神障害者支援の実践モデル	教科書1第6章
	6	相談援助の過程及び対象との援助関係	
	7	相談援助活動のための面接技術・スーパービジョンとコンサルテーション	教科書1第8章、第9章
	8	相談援助活動のための面接技術・スーパービジョンとコンサルテーション	教科書1第8章、第9章
	9	家族調整・支援の実際と事例分析	教科書2第2章
	10	家族調整・支援の実際と事例分析	教科書2第2章
	11	地域を基盤にした相談援助の主体と対象(病院実践の視点から)	教科書2第4章
	12	地域を基盤にした相談援助の主体と対象(病院実践の視点から)	教科書2第4章
	13	地域を基盤にしたリハビリテーションの基本的考え方(病院実践の視点から)	教科書2第5章
14	地域を基盤にしたリハビリテーションの基本的考え方(病院実践の視点から)	教科書2第5章	
15	講義のまとめ		
16	試験		
テキスト・参考文献・資料など	テキスト・参考文献・資料など 詳細は講義の際に説明する。以下のテキストの使用を検討している。 『新・精神保健福祉士養成講座5 精神保健の理論と相談援助の展開Ⅰ・Ⅱ』日本精神保健福祉士養成校協会編集 中法規出版		
学びの手立て			
評価	①講義への参加・出席 ②課題の提出 ③講義中のディスカッション等への参加状況 ④期末テスト・期末課題の提出の有無とその内容 これらを総合的に判断します。		

学びの継続	次のステージ・関連科目 精神保健福祉士養成課程の学生は以下の関連科目があります。 次のステージ・関連科目 関連科目：精神保健福祉士受験資格科目
-------	---



科目基本情報	科目名	期別	曜日・時限	単位
	精神保健福祉の理論と相談援助の展開Ⅳ	後期	火6	2
	担当者	対象年次	授業に関する問い合わせ	
	諸留将人（8）、安村勤（8）	2年	takashic@okiu.ac.jp	

学びの準備	ねらい	メッセージ
	<p>精神障害者への理解とリハビリテーション、そして地域支援の方法と現状を紹介していく中で、私たちが精神障害（者）とどのように向き合うべきかを考えていく講義です。精神障害を抱える人達とその家族を支えていく福祉職にとって基本的な視点を与える講義となります。具体的なケース検討などを交えながら講義を進めていきます。</p>	<p>精神障害者を抱えるのは本人と家族だけではありません。私たち社会が、精神障害者どう共存するかということは、私たち社会が抱える精神障害であり、精神疾患なのです。社会の一員として避けてはいけない問題として考えていく必要があります。</p>
到達目標	<p>①精神障害者の歴史を理解した上で、彼らが抱える「生きづらさ」に関しての理解がすすむ。                  ②精神障害者のリハビリテーションと地域支援についての理解がすすむ。                  ③精神障害者への相談・支援の具体的方法論について習得する。                  ④具体的支援方法を以下に適用するかについての「支援のコツ」について習得する</p>	

学びの実践	学びのヒント		
	授業計画		
	回	テーマ	時間外学習の内容
	1	導入	
	2	相談援助活動の展開	教科書2第1章
	3	家族調整・支援の実際と事例分析	教科書2第2章
	4	地域移行の対象及び支援体制	教科書2第3章
	5	地域移行の対象及び支援体制	教科書2第3章
	6	地域を基盤にした相談援助の主体と対象	教科書2第4章
	7	地域を基盤にした相談援助の主体と対象	教科書2第4章
	8	地域を基盤にしたリハビリテーションの基本的考え方	教科書2第5章
	9	地域を基盤にしたリハビリテーションの基本的考え方	教科書2第5章
	10	精神障害者のマネジメント	教科書2第6章
	11	精神障害者のマネジメント	教科書2第6章
	12	地域を基盤にした支援とネットワーク	教科書2第7章
	13	地域を基盤にした支援とネットワーク	教科書2第7章
14	地域生活を支援する包括的支援の意義と展開	教科書2第8章	
15	講義のまとめ		
16	試験		
テキスト・参考文献・資料など	<p>詳細は講義の際に説明する。以下のテキストの使用を検討している。                  『新・精神保健福祉士養成講座5 精神保健の理論と相談援助の展開Ⅰ・Ⅱ』日本精神保健福祉士養成校協会編集 中法規出版</p>		
学びの手立て			
評価	<p>①講義への参加・出席                  ②課題の提出                  ③講義中のディスカッション等への参加状況                  ④期末テスト・期末課題の提出の有無とその内容                  これらを総合的に判断します。</p>		

学びの継続	<p>次のステージ・関連科目</p> <p>精神保健福祉士養成課程の学生は以下の関連科目があります。                  次のステージ・関連科目 関連科目：精神保健福祉士受験資格科目</p>
-------	--